個 別 の 教 育 支 援 計 画②

中学校用

氏　名（　　）
記入者（　　）

目　標	・　見通しを持って学習に参加できるようにしながら、意思伝達の力を伸ばし、安定した生活を送れるようにする。 ・　適切なコミュニケーションの取り方を身に付け、友達と仲良く活動できるようにする。

必要な支援内容	実施機関 支援者等	評価・課題
・　見通しが持ちやすいように、環境を整理し、指示や助言を明確にする。 ・　学習の理解度を確認し、課題の調整や必要に応じた個別の支援を行う。	○○中学校 担任○○　○○ 支援員○○　○○	・　すべき行動を視覚的に示すことで、混乱が少なくなってきた。 ・　文章題の題意を読み取ることができるようになってきた。
・　ソーシャルスキルトレーニングを行う。（感情を抑えたり、友達と好ましいコミュニケーションを取ったりする方法を知らせる。）	○○支援センター ○○臨床心理士 ○○作業療法士	・　友達の発言に対し、すぐに感情的に反論することが少なくなってきた。

支援会議の内容	平成○年○月○日　○時～○時 参加者：○○・・・・ 　今年度の支援内容について確認し、授業時間における具体的な手だて、活動に見通しを持つことができるような配慮の仕方、友人関係でのトラブル時の対応の仕方について、関係者の共通理解を図った。

上記の計画について、了承いたします。　　年　月　日

保護者署名　　印